

# スタッフの白崎が取材に行ってきました！

## ★活動団体名

こし みどり くらぶ  
高志みどりクラブ



## ★取材にご協力頂いた方の所属

福井農林総合事務所 農業経営支援部(事務局)

## ★エリア

福井市、永平寺町

## ★設立

昭和47年（設立から40年以上が経っている）

## ★構成員数

26名

## ★高志みどりクラブ設立の目的

自己研鑽と仲間意識の高揚を目的として、福井の農業を熱く・楽しく・元気に盛り上げるため集まった福井市・永平寺町内の20～30代若手農家の集まりです。

## ★主な取り組み内容

情報交換や仲間作りの場としてだけでなく、新規就農者への栽培技術の支援や伝承もされています。さらに昨年(平成24年度)からは若い農家がどんな思いで農作物を生産しているか、少しでも知ってもらおうと、「農楽祭」という消費者とふれあう交流イベントを始められました。

### 【情報交換】

福井は高齢の農業従事者が多いため、若手だけで集まって気軽に話し合いができる場があることはとても良く、仕事でわからないことはベテランに聞けるという環境を整えられています。

### 【消費者交流イベント】

収穫体験やBBQを通して、「消費者と会話をする」ことは大切だとメンバーみんなの共通認識だったため交流イベントを始めました。最初はわからないことばかりだったのですが、平成23年度は幼稚園と1年を通してコメ作り企画を実施しました。平成24年度からは消費者とふれあう「農楽祭」というイベントを季節ごとに開催しています。「農楽祭」では、「ホウレンソウの収穫体験」「BBQ」「イノシシ肉のソーセージづくり」「3種類の鍋ふるまい」「自家製ハーブティーのふるまい」などが行われています。楽しい交流イベントとなるよう常に進化させているそうです。近頃、農業が注目を浴びるようになり、若手農業者も増えてきていますが、まだまだ年齢層の高い産業というイメージがあります。「農楽祭」は消費者交流会というだけでなく、農業＝高齢者の産業という固定概念を払しょくするねらいもあるそうです。

## ★農家交流プロジェクト「農楽祭」～若手農家と友達になろう！～



## ★農家交流プロジェクト「農楽祭」に参加した感想

参加日：平成25年7月27日

小学生以下の子ども連れの親子が多かったことが印象的でした。子どもから積極的に参加したいとリピーターになる人が多いそうです。また、個人で農業に関する情報発信をしている人も意外に多く、そういった方たちも交流イベントに参加していました。この交流イベントを通して、いろいろなところで「つながり」が生まれているということを実感！この「つながり」の輪を今後も広げていけるよう私自身も何か行動しよう！そう思った一日でした。